



校長だより

呉市立市阿賀小学校
安宗 誠



我が子の放課後の生活は大丈夫？

我が子が放課後どこでどのように過ごしているのか？四六時中、見ておく訳にもいかず、「どこに遊びに行くの？」「人様に迷惑をかけないように けがをしないように遊ぶんだよ！」「17時には家にもどっているんだよ。」と声かけをした後は、我が子を信じるしかない。そういったところでしょうか。

しかし、四六時中、見ておく訳にもいかないとしても、いつも気にしているサインを我が子に送り続けることが大切です。そして、そのことが守れたかどうか、お仕事から帰宅されてからでもいいので、我が子に確かめ、我が子が守れたと言うのであれば、取りあえず褒めてやる。そういう働きかけを続けることです。ただし、いつでも我が子の言うことを鵜呑みにしないほうがよいでしょう。遊んだ後の痕跡に注意深く目を向けていると、時として異常に気付くことがあります。あるはずないおもちゃがある。買えるはずのないお菓子がある。貯金が不自然に減っている。体に傷がある。自転車に傷がある。そういうことに注意深く目を向けることで、我が子が間違った方向に進むのを食い止め、いずれは保護者の導きなしでも我が子自らが正しく行動できるようになるのだと思います。

放課後の様子で特に気にしておきたいこととしては・・・。

- * 学校から寄り道をせず下校しているか？
- * 17時には自宅にもどっているか？
- * コンビニなどの店先でうろうろしていないか？
- * こづかいや貯金を、保護者の知らないところで自由気ままに使っていないか？
- * 子ども達だけで校区外に行っていないか？
- * 友だちを傷つけていないか？（傷つけられていないか？）
- * 悪口を言っていないか？（言われていないか？）

学校関係者評価委員会を行いました！

本日、評価委員の皆様（中尾保次委員、谷洋子委員、山下伸一委員、河本真弓委員）に授業の様子を参観していただいたり、本校の取組を説明したりする中で次のようなご意見・ご感想等をいただきました。今後の学校運営に役立てて参ります。

- 教室内が整理整頓されていてすっきりしている。
- 子どもたちの一生懸命頑張っている様子が見られた。
- タブレットの使うときのきまりが守れているようだ。
- 扱いにも慣れてきているようだ。

- マスク生活が長い間、子ども同士もお互いの表情を読み取りにくくなっているのではないかと子どもの異変に気付く努力が求められる。

